

平成24年度 第2回大学と県教育委員会との連携推進会議

議事概要

1 日時：平成25年1月31日（木）14時30分～16時30分

2 場所：愛知県白壁庁舎 5階 第4会議室

3 出席者：資料1の出席者名簿のとおり

4 議事概要

(1)あいさつ

愛知県教育委員会 野村教育長より

(2)高校生のための「あいちの大学「学び」フォーラム」の開催について

愛知県教育委員会より資料2「平成24年度 あいちの大学「学び」フォーラムの開催結果について」を説明。

○主なやりとり

(出席者)

この内容については1月28日に開催された愛知学長懇話会でも意見があり、「高校生が大学を選択する際のミスマッチを未然に防ぐ取組であり、大変感謝している」、「各大学では受験産業が主体となって同じ形式のイベントを行われる中で、このフォーラムならではの特色や位置づけを明確にしてほしい」、「ワークショップやゼミの場合、90分の枠が必ずしもふさわしいとは限らないと思うので、この点は柔軟にしてほしい」、「講座の内容に関して、手を挙げた大学が行うというのではなく、事前に県教育委員会がフォーラム全体の構成を描いてほしい」との意見があった。

(愛知県教育委員会)

このフォーラムでは、大学のPRや個別ブースの設置を控えていただき、講座のみの形で開催したが、今後も「学び」の面を重視しながら検討していきたい。

授業時間については、講師の派遣依頼を照会させていただく際に考慮していきたい。

また、フォーラム全体のデザインについて、今年度はモデル開催であったため、事前の調整は十分ではなかった点もあるため、今後、大学のご意見もいただきながら、県教育委員会が行ってほしい内容を検討していきたい。

(出席者)

オープンキャンパスとの差別化は重要だと思う。そのことが県教育委員会が主導する良さを県民にも高校生にも伝えていくことになる。オープンキャンパスはその大学を志望する生徒が参加するものだが、このフォーラムは資料2の参加生徒の感想からもわかるように、高校生に幅広く大学で学ぶチャンスを与えることが重要であり、家庭の事情ですぐには大学で学ぶことができない生徒にとっても将来自分でお金をた

めて大学で学んだり、あるいは生涯学習にもつながっていくことにもなると思うので、広く高校生に開かれていることに意義を感じている。

また、資料2の各講座の参加人数一覧の資料は、生徒にとって大変貴重であると思う。オープンキャンパスではその大学の特色自体のPRのため、限られた学部の中での選択となるが、この一覧を見ると各講座のテーマがどういった学問につながっているかが分かる。高校生が進路選択を考える際の一助となるよう、ぜひこういった資料を来年度フォーラムの参加募集の際に生徒に示してほしい。

(愛知県教育委員会)

今回のフォーラムでは、高校に対して「この講座が少ないから参加をお願いします」ということはやっていない。そのため、講座によっては人数が少ないものもあったが、大学の先生に熱心に講義をしていただき、関心のある生徒が参加しているため、生徒の満足度はとても高かったし、講師の先生にも満足をいただけたかと思っている。

(出席者)

大学からの講師派遣について、当初に申し出のあった43講座の分野別の内訳を教えてください。

(愛知県教育委員会)

①歴史・文化・言語が11講座、②子ども・教育が4講座、③芸術・デザインが3講座、④ビジネスが5講座、⑤社会問題が2講座、⑥生活科学が3講座、⑦保健・医療・福祉が8講座、⑧情報・工学が7講座、⑨理学はなし。

(出席者)

このフォーラムの目的に関して、今は大学が入りやすくなってミスマッチが多くなっているため、それを解消していくことは大事である。また、最近の学生は学ぶ意欲が低下したり、学ぶ喜びを十分に感じていないため、これらの点を明確にさせていただくと、高校の先生にも応援してもらえと思う。

(出席者)

講師の謝礼も旅費もなしとのことだが、県のプロジェクトとして予算措置は認められないのか。この取組の趣旨には多くの方が賛同するものと思うが、県としてその重要性が認められていないということなのか、そうであれば継続的に開催していくにあたり心配であり残念な面がある。

(愛知県教育委員会)

このフォーラムの考え方として、大学と県教育委員会が一緒になって高校生に学びを提供していきたいと思っている。

(愛知県教育委員会)

大学連携については県の中でもその必要性は認められており、本来であれば予算をつけて大学と協力して実施したいが、毎年度、予算全体で3割カットとなっており、こうした取組に予算が振り向けられないのが実態であるため、大学側にお願いをさせていただきながら、ぜひ継続してやってまいりたいと考えている。

(出席者)

旅費だけでもお願いできないか。講師全員分でも10万くらいだと思う。今後の検討をお願いしたい。

(出席者)

この点に関して、今の時代、学校だけでは若者は育たないため、社会全体で子どもを育てようという気持ちが大事であると思う。そういう趣旨であると理解したい。

(愛知県教育委員会)

この取組を継続していくにあたり、全てを大学に依存するのは苦しい部分もあると思うが、こうした機会を単独では持ちにくい高校の校長からは「この取組はうちの生徒にとってとてもいい機会だった。ぜひ続けてほしい」という声をいただいているので、今後も協力できる範囲でご協力をいただきたい。

(3) 大学生による小・中学校での学習支援の充実に向けた取組について

愛知県教育委員会より資料3「平成24年度 大学生による学校現場での学習支援の充実に向けた情報交換会の開催結果について」を説明。

○主なやりとり

(出席者)

本学では、学生が教育実習に行く場合、事前に大学として学生の訓練をしているが、学生が個人でボランティアとして小・中学校に行くことになると大学として困る場合もあると思う。そのため、事前に大学の方がわかるような仕組みになるようご配慮いただけるとありがたい。

(出席者)

その点に関して、学生が個人で申し込んだ場合に、市町村教育委員会から大学に情報提供してもらえれば、その学生への指導が行き届くようになると思う。

また、情報交換会に関して今年度は都合で出席できなかったが、来年度は参加することが可能か。

(愛知県教育委員会)

平成25年度の情報交換会については、改めて全ての大学に出欠確認を送付させていただく。

(出席者)

この学習支援に参加する学生は、教職課程の学生が多いと思うが、その学生に限定しているのか。教員志望でない大学生にとっても、小・中学生と交流することで社会貢献できる良い機会になると思う。

(愛知県教育委員会)

必ずしも教職課程に限っているわけではなく、広く学生を募集する市町村が多い。

(出席者)

メール配信システムのアンケートの回答期限について、2月22日まではきつい。配信の対象となる情報は学外の情報となるため、学内で検討会を行う必要があるが、大学としては2月20日頃まで入試で動けない。そのため、回答期限を少し遅らせてほしい。

(愛知県教育委員会)

回答期限についてはもう少し遅らせていただく。

→3月15日(金)を回答期限として依頼

(4)「あいちの学校連携ネット」について

愛知県教育委員会より資料4「「あいちの学校連携ネット」の充実について」を説明。

(5)その他

愛知県教育委員会より資料5「県教育委員会における主な高大連携の取組(平成24年度)」、資料6「総合型地域スポーツクラブ育成状況」、資料7「平成24年度 愛知県総合教育センターにおける研修・講座の参観について」を説明。

○主なやりとり

(出席者)

大学が総合型地域スポーツクラブに関わることで、学生たちも地域コミュニティと関わり、コミュニケーションの力を伸ばし、地域の様々な課題に出会うよいチャンスとなる。今後、希望する大学と市町村教育委員会との情報交換会を県の方で企画していただけるとありがたいと思う。

※その他、愛知県教育委員会より平成25年11月9日(土)、10日(日)に名古屋市と刈谷市で開催予定の「全国産業教育フェア愛知大会」についてPR。

(6)あいさつ(愛知県教育委員会 野村教育長より)

本日は限られた時間の中、貴重なご意見をいただいた。今後も検討を深めながら、大学との連携をしっかりと進めてまいりたい。

また、最後に説明させていただいた「あいちの学校連携ネット」について、このサイトは高校生が自分が何のために今、勉強をしているのか、今の学びが大学での学びにどうつながっていくのかなど、まさに高校生の学習意欲を高めるために重要な役割を果たすものと考えているため、サイトの内容の充実に向けて重ねてご協力をお願いしたい。